様式第２号（第５条関係）

令和７年度砥部町難聴高齢者補聴器購入費補助金に係る医師意見書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象者 | 氏名 |  | | 生年  月日 | 年　　月　　日 | | 性  別 | 男・女 |
| 住所 |  | | | | | | |
| 難聴の種類 | | |  | | | | | |
| 経過と現在の症状 | | |  | | | | | |
| 現在の聴力レベル | | | 右　　 　　　　　dB | | | 左　　 　　　　　dB | | |
| 補聴器の必要性 | | | 右　（□ 必要　　□ 不要） | | | 左　（□ 必要　　□ 不要） | | |
| 補聴器の処方内容 | | | ※両耳装用が必要な場合はその理由も記載してください。 | | | | | |
| 装用効果の見込み | | |  | | | | | |
| １　意見書の記載は身体障害者福祉法第15条第１項に規定する指定医師に限る。  ２　対象は、両耳の聴力レベルが30㏈以上70㏈未満であるもの又は片耳の聴力レベルが70dB以上で、他方の耳の聴力レベルが30dB以上70dB未満のもので、身体障害者手帳の交付対象とならないこと。  ３　対象は、他の法令等に基づく補聴器購入の助成等を受けていない者とする。  ４　聴力レベルの測定にあたり、オージオメータによる検査の実施が困難な場合は、ＡＢＲ等の多角的聴力検査又はそれに相当する検査を実施するものとする。 | | | | | | | | |
| 上記のとおり補聴器装用の必要を認める。  　　　　　年　　月　　日  　　　　　　　　　　　　　医療機関名  　　　　　　　　　　　　　所　在　地  　　　　　　　　　　　　　医　師　名　　　　　　　　　　　　　　　　㊞ | | | | | | | | |
| ※自署する場合は押印不要です。 | | | | | | | | |